

平成26年度 私立学校初任者研修九州地区研修会 実施報告（概要）

本年度の九州地区の初任者研修会は、7月2日(水)から4日(金)の2泊3日の日程で大分県別府市の城島高原ホテルで159名が参加し、大分県私立中学校等学校協会の実施で開催された。

開会式では、開催県の大分県私立中学高等学校校長会 安部恭一会長の開会のことばにはじまり、当研究所 中川武夫所長の主催者挨拶、続いて大分県私立中学高等学校協会 小山康直会長が開催県代表の挨拶をされた。



開会式に引き続き中川武夫所長の「私学教育の現状と課題」の講演では、現在の教育政策の方向性と私学としての立場、私学教員としての心構え、また、当研究所のHPの活用が紹介された。

続いて、大分県警察本部刑事部参事官 安部一二三氏による「少年非行の現状と教師としての対応」と題した講演では、統計資料及び事例に基づく解説、また何よりも早期に学校全体で取り組むことが重要であるとした。

この後、夕食交流会が催され夕食を共にしながら参加者の交流が図られた。



2日目は、午前中学生指導について研修がされ、別府溝部学園短期大学・九州短期大学非常勤講師 矢口孝芳氏による「これからの生徒指導の在り方について」の講演では、コミュニケーション技術のひとつであるピア・サポート手法などの紹介がされた。その後、グループ討議に移り7グループに分かれた参加者はこれまでの経験事例をもとに意見交換・討議を行った。



午後の研修では、東九州龍谷高等学校教頭で、同校バレーボール部監督の藍原 昇氏による「部活動における人間関係」と題した講演で、ご自身の監督として教師として生徒の将来のためにもただ勝利するのではなく、これからの成功者づくりをめざした指導の実践について紹介された。

その後、学習指導の研修に移り、当研究所の山崎吉朗主任研究員による「効果的な学習指導」の講演が行われた。さらに午前には引き続き、7グループに分かれて事前の参加者レポートについて指導員の先生方の指導による討議が実施された。

3日目は、前日に実施したグループ討議について各グループごとに発表が行われた。

続いて「地域の今・地域のこれから」と題して大分合同新聞社常務取締役 神足博美氏による、「人口の減少と一極集中、また、高齢化が同時進行する時代のなかで社会・地域が大きく変わるこれからのについて」の講演が行われた。

講演終了後、研修のまとめとしてレポートの記入を行い、閉会式では、当研究所の菅沼宏比古初任者研修等事業検討委員及び大分県私立中学高等学校協会 小山康直会長の挨拶、引き続き参加者の代表に菅沼委員より修了証が授与され、3日間の研修を終了した。

なお、次年度同地区の研修会は、長崎県で開催される予定である。

